

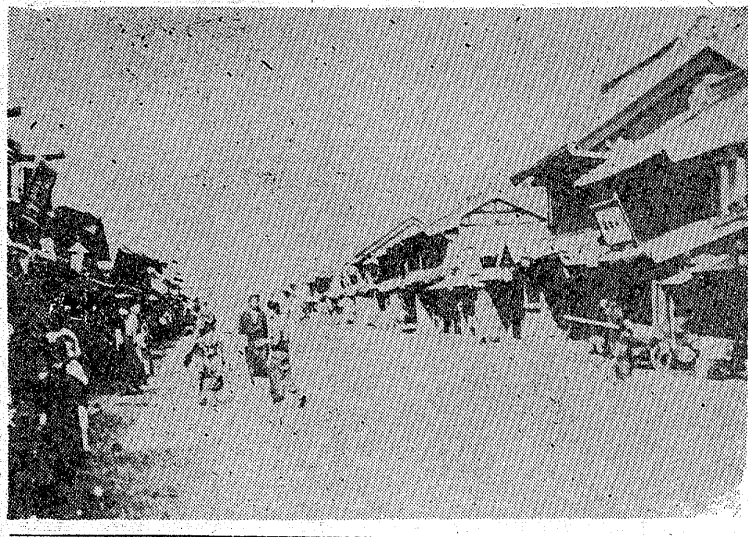
明治平のききがき(3)

荒川 禎 三

二、平 繁 昌 記

武士が名がつけば、中味は竹光であつたが、なまぐらうが、二本差しておれば結構な世帯主ができた。その侍天國の守本尊に「磨刀令」が出た。刀をさしてはいけぬ。といふのは政府は治安維持が目的であつたが、土農工商を一律に丸腰にしたことは明治革命を推進する上において精神的に大きな役割を果した。さて旧藩の武士道には大きなシロツクであつた。そのシロツクに対し政府は金や土地を給与した。それを「お金の権力」としてつかわつた。「お金の権力」を自指して、富貴や金銭の世渡りにかつめた武士は成功した。比較的、くさくさのよかつた主なものも明治二十八年の調査からひびいてきた。

- 二丁目 料理店 谷口 元治
- 三丁目 旅人宿 野村 有孝
- 四丁目 本物商 柴田 嘉次郎
- 油 屋 百沢 司 興 年 の 事 業 である。



そのほかにもあつたろうが、大部分は世であつたなら……との不平があつた。

そこでいふと、なんの保護もなく自力で、世相のまにまに生き抜いて来た農工商は、結構甲斐に似せたくらゝをたてていた。二本差だけであつた。その年貢は、新政府は維新時代よりもきびしくつた。維新戦争や明治一三年の大飢饉もしんやしくなかつた。それでも平農下はまたよかつた。

白河県下の藩領地(小名浜)や榎倉領下の(蓮田、遠野)はひどかつた。開墾といつて、生後間もない赤ん坊に乳粉を与えなかつた。随分した……鬼畜の行爲が公然と行なわれた。明治四、五

政府は明治六年地租条例を改正した。しかし年貢は物納と金納の二つを、通貨で代納できるものとしたのである。地主と佃農階級が生れて、税金を納められ、人となつて義務を果した。武士階級が政府から給付を受けた土地も、このときから金納を経て、地主の巨邦に二三文でかき寄せられたわけである。

その点、平は城下町で、半商半農といふやうに、両に比重がかつていたので、わりとよかつた。商賣で儲ければ土地を買つて地主となる資金がたまる。品代のかわりに土地をこりあげる。上向き者はクワンシヤに上り、転落者は坂道の勾配が加速した。その無常迅速を、明治二十八年の納税記録から、よみてもらいたい。

明治二十八年石城三郡納税表

町村名 所得税 田畑地山林 納入者 地租 金高

平町	六〇、二九一〇円八四		
草野村	一、二五〇〇余		
豊岡村	一、二八〇〇余		
夏井村	四、二八〇七余		

合併に備え水道打合せ

常磐地区市町村水道打ち合わせ会は三十日午前九時から平保健所会議室で開く。

常磐地方十四市町村合併が話題となつてゐるため、新市のたんに備へて対策を研究する。また具体的な案は打ち出されてないが合併後には上水道のない町村にも配水する計画などもあり、市民の生活に直結する水道問題の取り組を来月三月まで作成する。

農業振興策

30日打合せ

常磐地方農業振興計画打ち合わせ会は三十日午後一時から平市庁舎にて開く。

平市は八月から次の日程で造林補助金交付申請を受け付ける。

- ▽八月一日農園、高久出張所▽九月一日夏井出張所、豊岡出張所▽十月一日草野出張所、榎岡出張所▽十一月一日平市庁舎前

造林補助受付け

平市は八月から次の日程で造林補助金交付申請を受け付ける。

- ▽八月一日農園、高久出張所▽九月一日夏井出張所、豊岡出張所▽十月一日草野出張所、榎岡出張所▽十一月一日平市庁舎前

各種 婚礼家具 勉強で評判の店

丸萬家具店

店舗 平市四丁目 電話 6633
工場 平市白銀町 電話 6634

佛目

平市新川町橋本屋

本格的 (レコード) ステレオ (テープ)

専売店 フルヤマ

平・2丁目

宝石の糸 毛糸 ダイヤモンド毛糸

ハシモトヤ糸店

平市銀座 TEL 4315~6

御安心下さい

自転車とオートバイなら 技術と信用を誇る

佐藤 輪 業 へ

平市仲町公会堂前 電話 六四五二

趣味の 和生菓子 歌風の 洋生菓子

銘菓 カラマシ

非常に好評です

菓司 泉屋

平市五丁目 T3077

カメラと交換レンズ 10回払い

全国カメラ月販KKチエン

カンカメラ店

公会堂前 TEL 7557

石炭風呂として最高能率の 常磐炭礦推奨の

万代風呂

タイル風呂金付二万円

常磐炭礦福島県販売株式会社

平市田町一四電代六一四一

総合建設業

大同建設株式会社

内線市水の田 電話五二八

